

神奈川県山梨教会連合会より

か り ん

インタビューシリーズ【向き合う】

第一回（前半）

横浜西教会信徒 箕田朋歩



平成七年生まれ。横浜西教会、山田信二先生・浩子先生のご長女。鶴見大学短大卒業後、横浜市内の幼稚園に八年勤務される。昨年九月にご結婚され、現在は茅ヶ崎在住。フォーゲル東日本連盟の委員長。

○朋歩さんといえば「フォーゲル（主に信奉者子弟対象の活動団体）」が一番に思いつきます。小さいころからフォーゲルの活動をされてきたのですよね。

箕田朋歩さん（以下…朋）…いえ、最初横浜西教会ではフォーゲル活動はなく、私を含

めて3人で、子ども会として活動していました。

転機は2005年、フォーゲルで行われているキャンプに、中野教会でリーダーをされている阪本正雄さんが連れて行ってくられることになり、弟と参加させていただいた時だと思えます。

それまで信奉者の同世代は周りにいなかったのですが、キャンプでは何人もいて仲良くなり、自然の中でとても楽しく過ごしました。制服も、年上のリーダー方がピシッと着ているのがかっこよく見えたり。

感動して帰ってきてすぐ「教会でもフォーゲルの活動をしたい！」と両親にお願いしました。

○よほど楽しかったのでしょうか。それで横浜西教会でも始まったのですか？

朋…すぐに結成、とはいかなかったのですが、これまでの集会の内容はフォーゲル寄りになりました。集まって遊ぶ集会から、遊びの中にも神様や自然を感じられるような内容になっていったように思います。その後、2010年に「ウインズフォーゲル隊」が結成され、継続して活動させていたでいます。

○最初は楽しいフォーゲルだったようですが、朋歩さんの年齢があがるにつれ、フォーゲルの向き合い方など、変化はありましたか。

朋…中学生の頃は「リーダーになりたい」

という気持ちが強かったです。高校生になると、学業や部活、さらにフォーゲルのキャンプに参加するための交通費稼ぎにバイトを始め、忙しい日を過ごしていました。

○そんな忙しいと、フォーゲルの活動も大変そうですね。

朋…それが、不思議とうまくお繰り合わせいただいで、日程がかぶることほとんどありませんでした。父母に「神様に何事もお願いしてから、させていただけば、うまくいくよ。」フォーゲルが出来るバイトを「部活・バイト・フォーゲルの予定がうまくいくように」というふうにお願いで進めていこうね。」と言われて、その通りになっていたら、うまく都合がつくように自然となっていました。（続く）

フォーゲル東日本連盟集会のご案内

カレー作り大会

5月21日（日）会場：しながわ区民公園

9時55分受付開始・10時開会

16時解散予定

チームに分かれて美味しいカレーを作ります…どこが一番美味しいかな？フォーゲル会員以外の方も、未信奉者の方も大歓迎！5月

6日までに横浜西教会

(045-804-2295)まで、

ご質問、お問合せも

こちらまで。



みんなの交流会

「花の鎌倉史跡巡り」実施

〔健脚コース報告〕

3月27日(月)、昨年までの「みんなのつどい」を発展継承して、「みんなの交流会」を開催し、鎌倉散策を行いました。

午前中からは、若い人向けの健脚コースを設けまして、午後からはどなたでもご参加頂けるよう平坦なゆとりコースを設定しました。

史跡巡りの最後にお広前が新しくなった鎌倉稲村ガ崎教会にお参りさせて頂きました。



→先発の子供たち

ここで子供たちは、お小遣いを洗い清め、

健脚コースは午前十時に鎌倉駅時計台前に三十一名が集合し、3班に分けて史跡巡りを開始しました。先頭の第1班では、春休みの少年少女たちが金光教旗を掲げて先導し最初に銭洗い弁天に到着しました。



倍増を願いました。

次にきつい坂を上り詰めて源氏山山頂へ到着しました。源氏山には源頼朝像が鎮座しており、各班毎に頼朝様とツーショット写真を撮りました。

→一所懸命にお小遣いを洗う子供たち。
お金が増えますように...。
←頑張って登りました、ハイチーズ！



おながすいたところでランチタイムとなり、早速、カラスとトンビの歓迎がありました。頭上を警戒しながら、広場で崎陽軒の美味しい弁当をいただきました。



昼食後は、鶴岡八幡宮に向かい(実朝暗殺のイチョウ・静御前の舞舞台見学)

- ・ 頼朝の墓
 - ・ 大倉幕府跡
 - ・ 北条高時腹切りやぐら
 - ・ 桜咲く若宮大路
- と、桜の盛りに人出も倍増した鎌倉の街並みを堪能しました。
そして江ノ電に分かれて乗車し稲村ヶ崎で下車、鎌倉稲村ガ崎教会お広前に午後3時すぎに到着、教会の皆様のおもてなしをいただき、解散となりました。

(高橋義吉)

〔ゆとりコース報告〕

3月27日(月)十二時半、ゆとりコース参加者は、鶴岡八幡宮の鳥居をくぐってすぐ、太鼓橋前に集合した。遠路はるばる参加して下さった甲府教会長以下4名、丸子の女性信者さん5名、神奈川教会の男性、登戸教会長と筆者の12名。そこにグループリーダーの信徒部長が来てくれて、観光客であふれかえる八幡宮を離れて、「頼朝の墓」に向かった。

途中、横浜国大附属小学校中学校や清泉小学校のある一帯の住宅地は、公文所、問注所など鎌倉幕府の主要施設が置かれていたようで、説明の石碑があった。二十分ほど歩いて、墓の下に到着。そこから頼朝のお墓まで五十三段の階段を登らねばならないという。「下の公園で待ってます」と言う方もいて、希望者だけ登って行った。

感想。「案外質素なのね、やっぱり武士のお墓だからかしら」。

公園のベンチでしばし休憩、次の目的地、「腹切り櫓」に向かう。後醍醐天皇が討幕の兵を挙げ、足利尊氏、新田義貞など討幕軍が幕府軍を追い詰めて、いよいよ最期と悟った北条一族や幕府の残党が800人余も自害したという場所で、昔は霊的な噂が絶えない処だったとか。気のせいかな、少し怖いような感じがあるが、今はすぐそばまで住宅地になっている。そこから若宮大路

に戻り、折から満開の桜が咲き誇る段葛(だんかざら)八幡宮への参道)を歩いて鎌倉駅にもどった。その間およそ2時間弱。



江ノ電鎌倉

駅から藤沢行の電車に乗り、5つ目の稲村ヶ崎駅から徒歩5分、3年前に落成した鎌倉稲村ヶ崎教会に向かった。

稲村ヶ崎というのは、新田義貞が鎌倉攻めをした時の古戦場で、海に黄金の剣を投げ入れ、龍神に祈願すると、潮が引き、海上に居た北条軍が流されたため、稲村ヶ崎を突破出来たという、有名な伝説のある場所である。

教会は木造の、「瀟洒」という形容がぴったりの外観で、親奥様と若先生が軽井沢にあるキリスト教系の教会を気に入り、そのイメージを膨らませて建築会社に設計をお願いしたとか。素敵な外観の建物で、内部は便利によく工夫されている。若先生の先唱でご祈念のあと、ご挨拶を頂き、薫り高いコーヒーで喉を潤しながら、健脚コースとゆとりコースの参加者、さらには直接教

会に参拝された数人の方々も含めて四十数名が、自己紹介をしたり、歓談したり。1時間があったという間に過ぎ、駐車場で参拝者全員の記念写真を撮って、16時前に散会した。

暑くなく寒くなく、時々晴れの曇り空、前日の雨のおかげでほこりも立たず、絶好の散策日和であった。その上、桜はちょうど満開で、段葛の両側の桜も今を盛りと咲き誇っている様子は、まことに綺麗だった。事故もなく、うれしく楽しく有難い散策を感謝のうちに終了した。(大塚東子)



鎌倉稲村ヶ崎教会前にて「お疲れ様でした～！」

教話研修会開催

「何を、どう伝えるか」

二月十四日かながわ県民センターにて、教話研修会（出席者九名）が行われた。講師に浦和教会長松本光明先生をお招きして、「何を、どう伝えるか」という講題でお話をされた。

今年度連合会教師部の統一テーマが「教祖一四〇年を迎えて 今の信心を見つめ直す」という事であり、教祖様ご帰幽（明治十六年 西暦一八八三年）後一四〇年のお年柄にあたる中で、時代の移り変わりと共にさまざまな問題に直面する中に、今こそ、あらためて教祖様の信心をいただき、現代の難儀に向き合い、それぞれの生き方を求めつつ神願成就のお役に立たせて頂きたいとの願いから教会における教話は重要であり、内容を充実させるためにも、教話研修会の開催は大切である。

松本師の教話の内容は、未信奉者に対して「何を」「どう伝えるか」という事で、昨年日本ボーイスカウトジャンボリーが秩父で開催され、宗教儀礼で金光教の会場では、松本師が祭主を務め、祭詞を口語体で行い、その内容を教話として話された。

例えば「私たち人間は、この瞬間も、天地・宇宙の大きなお働きを受け、天地自然のたくさんの恵みを受けて、生かされて生

きております。「人間は、天地自然から沢山の宝物をいただいていることを忘れていく。」スカウトとの「ちかい」や「おきて」を大切に、天地の働き、神様の働き、難儀の元、神様の目、人間の願い等を祭詞に挿入され、「どう伝えるか」では、おかげ話と共に有り難い神様のお話、神様からいのちを頂いての喜びの生活を話にする。ということ、さらには、記念祭を前に教祖様の教えを頂き、教会活動等も紹介された。

閉会后、定期教話講師会が行われた。



編集後記

（そりやそうだよね、そろそろくるよね…）4人の子どもは大きくなり手から離れ、忙しいという言い訳がなくなった私に、昨年末恐怖の…いや、ありがたいお電話が、連合会長からかかってきました。

「かりんの編集をお願い出来ますか？」スマホを持つ手が震えて落としそうになりながら、「はい。よろしくお願ひします」とお返事させていただきました。

大変な事はわかってたのに、頼まれると弱い私。PTAしかり、町内会しかり。

でも、受けさせてもらった事は、大変な事もありながら、おかげいただきなんとかやりきらせていただいて、自分の経験にさせていただいたり、今も仲の良い人達との出会いにもならせていただきました。

編集なんて、大変な事が多いだろうな。でも、楽しみも増えたな。などと考える、自分のノーマンに呆れます。

かりんを手取る方が、喜んで読んでもらえるような紙面を目指して、優しい先輩方に教わりつつ、御用させていただきますと思います。よろしくお願ひいたします。

（今村 則子）

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 山田 信 二

〒245-0017 横浜市泉区下飯田町926・23
金光教横浜西教会内